

公民館も進める「学校と地域の連携・協働」

未来を担う子どもたちの成長を支え、「社会に開かれた教育課程」を実現するために、地域と学校が連携・協働し、社会総掛かりで教育を行う体制の構築をめざして、山形市では「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」と「地域学校協働活動」を一体的に推進しています。

山形市内の公民館では、社会的要請学習「子ども支援」と地域づくり学習「子ども育成事業」を、地域学校協働活動である「放課後子ども教室」として実施しています。

放課後子ども教室を学校との連携と多くの地域住民等の参画によって実施することで、地域社会全体の教育力の向上を図るとともに、学校と地域が連携・協働して子どもの学びを支える仕組みづくりを進めていきます。

霞城公民館では、「学校との連携」「地域住民等の参画」の在り方を探るために、第七小学校と第十小学校に配置された地域学校協働活動推進員と公民館主事が意見交換を行いました。

江南公民館が開催した「はじめてのプログラミング講座」では、地域の方が参加者の受付を行いました。また、子どもたちがプログラミングに夢中になって学ぶ様子を参観しました。

6月17日（月）は山形市中学校総合体育大会の振替休業日で、中学生はお休みです。この日に霞城公民館では中学生を対象に公民館の開放を行いました。ちらしを見た第二中学校と第三中学校の生徒が公民館に訪れ、宿題や自主学習をしたり、卓球をしたり、楽器の練習をしたり、お友だちとのおしゃべりを楽しんだりしました。初めて公民館を訪れた中学生も含めて、延べ40人の中学生が来館しました。

「地域とともにある学校づくり」を考える

主に先生方を対象とした「地域とともにある学校づくり研修会」を下記のとおり開催します。たくさんの先生方のご参加お待ちしております。

- | | |
|---------|--|
| 1 日 時 | 令和6年8月1日（木）14：00～16：40（受付13：40～） |
| 2 会 場 | 山形市総合学習センター 多目的研修室 |
| 3 内 容 | 事例紹介及び質疑応答・意見交換 |
| 4 事例提供者 | 地域学校協働活動推進員（山形市立高楯中学校） 安孫子 真澄 氏
山形市立千歳小学校 校長 富樫 朗 氏
山形市立第七小学校 校長 原田 健男 氏 |

「ファシリテーション」によって深まる関係・深まる学び

5月15日（水）、村山教育事務所で行われた研修会に、社会教育青少年課と公民館から4名の職員が参加してきました。「中高生の考えを引き出すファシリテーション」というテーマの研修で、講師はまちづくりファシリテーターの稲村理紗氏です。

「ファシリテーション」、「ファシリテーター」とは何かご存知でしょうか。講師の稲村氏は次のように説明しています。

ファシリテーション

話し合いや学びなどの集団活動で、メンバーが関わりやすい環境を整え、一人ひとりの知恵や経験、思いややる気を引き出し、集合知による創造的なアイデアや深い学びが生まれるように支援する技術

ファシリテーター

ファシリテーションの技術を持って、人や場に関わる役割の人

中学生や高校生の話し合いだけではなく、大人の会議や研修などでもファシリテーターが活躍しています。

研修ではファシリテーターによるアイスブレイク、グループワークを体験しました。安心して聴く・話すことができるようになること、参加者全員が意見を述べるようになること、よい人間関係が築かれていくようになることを目の当たりにしました。

学校運営協議会の「熟議」に求められる「多くの当事者（保護者、教員、地域住民等）が集まって、課題について学習・熟慮し、議論をすることにより、互いの立場や果たすべき役割への理解が深まるとともに、それぞれの役割に応じた解決策が洗練され、個々人が納得して自分の役割を果たすようになる」というプロセスを創り出すためにはファシリテーターによるファシリテーションが必要なのではないかと思います。（市内ではすでに取り組んでいる学校運営協議会があるようです。）もちろん、学校運営協議会だけではなく、地域団体等の会議や打ち合わせ等においてもファシリテーションは必要だと思えます。ファシリテーション技術の向上や、確かな技術を持ったファシリテーターの参加を進めてみてはいかがでしょうか。